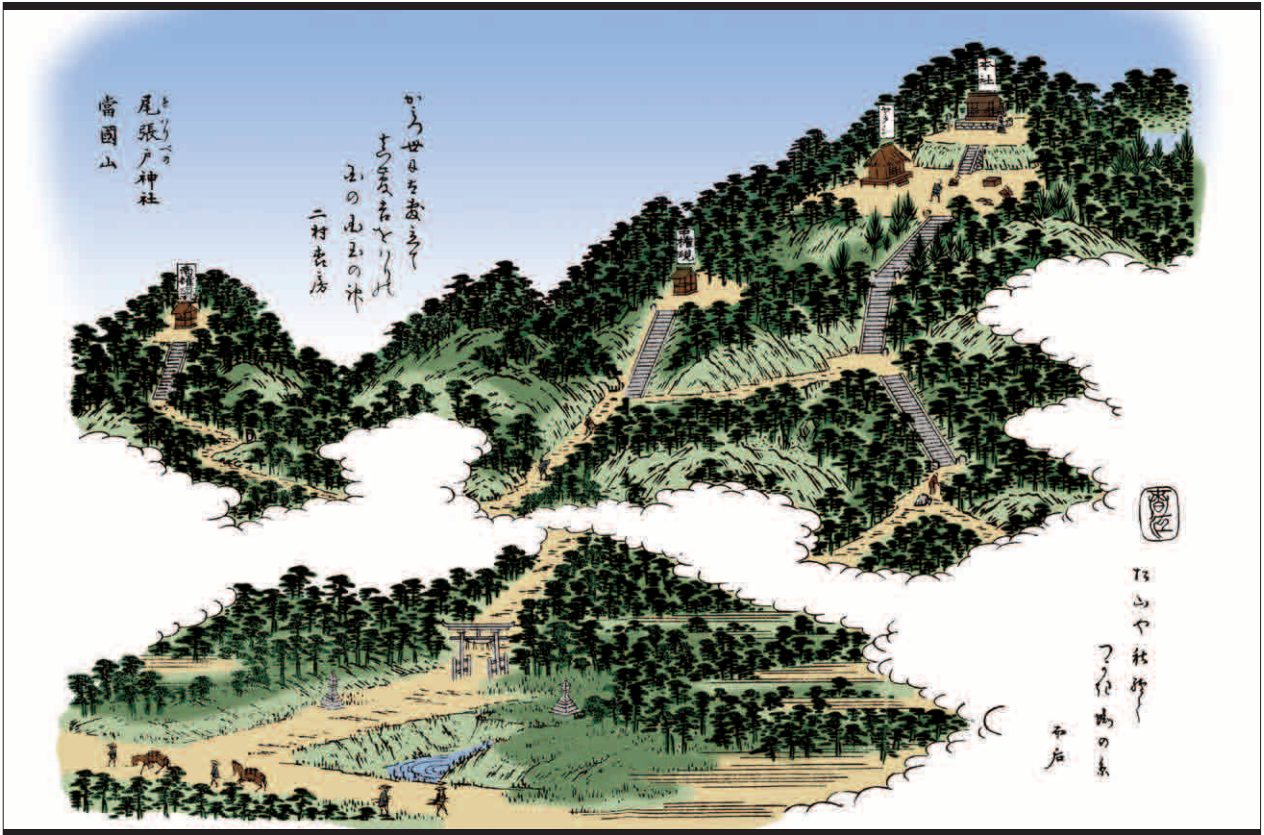
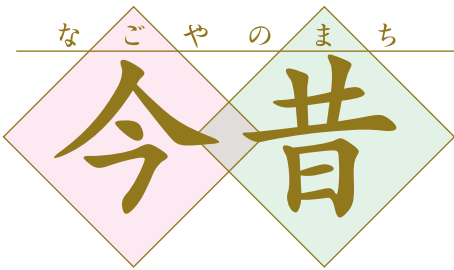


歴史と自然を感じる山・里



※現在地の住所と現況写真の撮影地は、資料に基づき推定したものです。
※左の絵は原本を一部加工、着色しています。

この絵は、尾張名所図会に描かれている江戸時代の當谷山(以下「東谷山」と表記する)にある尾張戸神社の様子です。

尾張戸神社は、天火明命、天香語山命、建稲種命の尾張氏の祖人を祀る、西暦135年(成務5年)に宮簀媛命の勧請と伝えられ、古くは、熱田神宮に次ぐ大社であったと伝えられています。

1525年に火災に合いましたが斯波氏により再建され、江戸時代には尾張藩の崇敬も厚く社殿の修復が行われています。また、厄病除けの神として信仰を集めています。

この神社は、東谷山の山頂に位置し、社殿は、尾張戸神社古墳の上にあります。

東谷山は、名古屋市の北東に位置し名古屋市と瀬戸市の境にある標高198m、本市の最高峰で、展望台からは、広大に広がる濃尾平野が一望でき素晴らしい眺めです。

また、尾張戸神社古墳は、発掘調査の結果、円墳で白鳥塚古墳と同時期の4世紀前半のものと考えられています。

東谷山西麓は、尾張地区最大規模の群集墳となっていますが、開発などにより多くの古墳が損なわれました。

現在、土地区画整理事業が進む上志段味地区では、志段味古墳群を歴史的な風土・環境と一緒に守ることをめざし「歴史の里」の整備計画が進められています。



東谷山山頂からの眺望



尾張戸神社

◆関連資料 * () 内はまちづくりライブラリーの請求記号です

「尾張名所図会後編四」 岡田啓 / 編 愛知県郷土資料刊行会 (Sc-ア)

「守山市史」 愛知県守山市役所発行 (2B21-63)

「名古屋市の史跡と文化財」 名古屋市教育委員会 / 編 (Sc-ナ)

「尾張氏 志段味古墳群をときあかす」 名古屋市博物館 / 編 (2B40-2012)

「守山区の歴史」 守山郷土史研究会著 (Sc-ア)